

# 「3つのなりたい」で「地域に不可欠の店」へ

## 「越知店」

### ① 「地域の情報の発信と交流の場所になりたい」

地域の高齢化・過疎化が進む越知・中山間部でこれから大切になるのが、地域の良さ・特徴を情報として発信して知って・興味をもって来て頂く事です。その為に越知店では、地域のゆるキャラ（グランプリ15位）よこジローを使わせて頂き、またSNSを通じて地域の情報やよさを発信して行くことで、地域の一員として越知町の一員として、地域の情報の発信と交流の場所になりたいと考えています



店舗入り口にある大きな地域のマスコットキャラクター「よこジロー」のタペストリー越知町長より使用許可を頂いて掲示しています。

### ② 「地元・山間部のライフラインになりたい」

高齢化・過疎化が進む越知町では、足としての車を持たないお客様も多数いらっしゃいます。また、山間部から出て来るお客様に取っては最寄りのスーパーマーケットが越知店です。そういったお客様にとって、越知店がなくてはならないお店でありたいと考え、お店の駐車場に「町民バスの待合所」を越知町と協力して作りました。町営バスでお店にいらつしやるお客様も多数いらっしゃいます、またこの4月からはバスの回数券も越知店で販売を開始いたしました。生活に欠かすことのない出来ない地元のライフラインとしての存在になりたいと考えています



店舗の横にある、越知町の町営バス足の無いお客様が利用されている曜日ごとにコースがあり、町内を網羅しており。サンプラザ越知店でも、回数券を販売しています。

### ③ 「買い物物の楽しさを伝えられる存在になりたい」

120坪と決して大きくはありませんが、越知町内の唯一のスーパーマーケットとして、お客様のお買い物物の楽しさを伝えられるお店でありたいと考えています。今シニアを増やしているネット販売の、デジタルの買い物ではなく、直接商品に触れ・感じ・考え・選ぶ、5感で買い物をする楽しさ、季節の替わりを行事や旬で感じる楽しさを、お店を通じて提案して行く事で、買物の楽しさを伝えられる存在でありたいと考えています



催事や旬などをきちんと表現する事でお客様にお買物の楽しさ（見て・触れて献立を考えて・選んで）を伝えて行ける売り場作りを心掛けています。

この「3つのなりたい」で地域に必要な一員としてのサンプラザ越知店になりたいと考えています